



平成 21 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 富士ピー・エス
 代表者名 代表取締役社長 長尾徳博
 (コード 1848 大証第2部、福証)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 経理部長 伊藤章延
 (TEL 092-721-3471)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 8 月 12 日に公表しました平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び平成 22 年 3 月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)
 (単位：百万円，%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	9,000	△80	△120	△180	△10 円 15 銭
今回修正予想 (B)	10,090	390	365	405	22 円 84 銭
増 減 額 (B-A)	1,090	470	485	585	—
増 減 率 (%)	12.1%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	8,074	△851	△824	△892	△50 円 31 銭

※当社は、平成 22 年 3 月期から連結財務諸表を作成しておりません。上表で(ご参考)として記載しております前期第 2 四半期実績は連結業績であります。

- 2 平成 22 年 3 月期通期の業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)
 (単位：百万円，%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	24,000	400	330	440	24 円 81 銭
今回修正予想 (B)	23,000	490	420	450	25 円 38 銭
増 減 額 (B-A)	△1,000	90	90	10	—
増 減 率 (%)	△4.2%	22.5%	27.3%	2.3%	—
(ご参考) 前期個別実績 (平成 21 年 3 月期)	22,559	△1,286	△1,277	△1,350	△76 円 13 銭

3 修正の理由

(第2四半期累計期間の業績予想修正の要因)

売上高については、主に土木工事において工事が計画以上に進捗したことから増加する見通しです。

損益については、売上高の増加に加え、選別受注の徹底や工事施工の効率化をさらに進めたことなどにより、営業利益、経常利益、四半期純利益とも黒字転換する見通しです。

なお、四半期純利益には、有価証券売却による特別利益の増加が含まれております。

(通期業績予想修正の要因)

売上高については、土木工事はほぼ計画通りとなる見通しですが、建築工事が市況減退により減少する見通しであることから、全体としては減少する見通しです。

損益については、売上高は減少するものの、選別受注の徹底や工事施工の効率化をさらに進めることなどから、営業利益、経常利益、当期純利益とも増加する見通しです。なお、当期純利益には、リストラ対象資産のうち現時点で売却が確定していないものにかかる特別利益は計上しておりません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上